

親バカになろう！ 🎃🎃🎃🎃🎃🎃🎃🎃🎃🎃🎃🎃🎃🎃

パパ・ママは、家族以外の人に自分の子どもをほめられたとき「いやいや、そんなことないですよ」と言いがちではないですか。日本人は謙遜するのが美德みたいに思われてるからでしょうか。

「この子は人見知りで」
「この子は神経質で」
「この子は言うことを聞かなくて」など



でも、これって、言われた子どもは、かなりショックです。「パパ・ママは、私のことそう思ってるんだ…」と、真に受けてしまい、本当に徐々にそういう性格になってしまうことがあります。

脳は、言われた言葉の影響を受けてしまうので、否定的な言葉をたくさん使うと、否定的な考え方になってしまいます。

逆に、自己肯定感を上げたければ、肯定的な言葉をどんどん使っていくと、気持ちが前向きになって、不思議なことに、良いほうへ良いほうへと転がっていくのです。

ですから、ほめられたときは変に謙遜せずに、「ありがとうございます。本当にこの子はすごいんです！」と、親バカになって喜びましょう。すると、子どももうれしくなって、どんどんやる気になっていきます。子どもを甘やかす親バカは困りますが、子どもの成長のための親バカは大いに結構。

同様に、パパ・ママがほめられたときも「ありがとうございます」と素直に受け取りましょう。びっくりするくらい気分が変わって、家族みんなが優しくなり、仲良しの家庭になります。

ぜひ試しにやってみてくださいね。